

ツキノワグマの「ケン」

「ケン」は生後1カ月半のころ、雄と雌の兄妹で保護され、当園に来ました。

1歳半になると、野生のツキノワグマでも親離れをして、単独で生活します。このため、ケンたちも自立できるようにと、交互に運動場に出すようにしていました。そんな時、里子の話をいただき、雌を7月に出すことになりました。



飼育員 日誌

須坂市動物園

「ケン」はきつと、1頭になつて寂しがる「と思つていました。が、元気に獣舎の中を動き回ったり、大好きなハンモックの上でお昼寝をしたりして

やんちゃだけど相当ビビリ

過ごしています。

ついこないだまで、ドングリポストが設置されていて、そこに集まったドングリをたくさん食べて、日に日に成長しているようでした。好奇心はなお旺盛で、獣舎内の丸太を動かすなど、やんちゃぶりを大いに発揮しています。一方でチョットした物音や動きに驚き、すぐに高い所によじ登ってしまううビビリな一面もあります。

どんな大人になるのか楽しみです。



(ツキノワグマ担当 羽生田実)